

登録コード	L2533300	開講年度	2026				
担当教員	田所 朱莉			副担当			
授業科目	英語文学基幹演習						
英文授業名	Literature in English Basic Seminar						
授業タイトル	アメリカ演劇研究ゼミ（家族劇 - Edward Albee研究）						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限
講義室	人文205演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力			アメリカ演劇の精読、分析を通して、異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力を身につける。			
	【2022年度以前加付対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー			アメリカ演劇の精読、分析を通して、他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシーを身につける。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思察力・受容力・批判力】			アメリカ演劇の精読、分析を通して、人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力（思察力・受容力・批判力）を身につける。			
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業では、アメリカ演劇を政治・社会・文化とリンクし、アメリカを映し出す一つの有効なメディアとして捉えます。アメリカ演劇の系譜と現状、問題意識を考察することで、アメリカ社会と文化の研究を行うことを授業の目的とします。 2026年度においては、「家族劇」をテーマとし、基幹演習（前期）ではEdward Albee（1928-2016）を扱います。Albeeは、1959年にThe Zoo Storyで鮮烈なデビューを果たした後、A Delicate Balance（1966）、Seascape（1975）、Three Tall Women（1991）でピューリッツァー賞、Who's Afraid of Virginia Woolf?（1962）とThe Goat, or Who is Sylvia?（2002）でトニー賞を受賞し、20世紀から21世紀に及ぶアメリカ演劇を牽引し続けました。 アメリカが内包する多様な問題を照射するオールビー作品は、1960年代から21世紀の現代に至るアメリカ演劇のダイナミズムと今後のアメリカの方向性を考える上で大きな指針と知的刺激を与えてくれるでしょう。 本授業は、発表と議論を中心に進行します。毎回、担当者に発表をしていただき、教員による解説とディスカッションを行います。各々の理解と議論を深めることで、アメリカ演劇を多角的かつ重層的に捉え、楽しみながら研究していきましょう。						
授業計画	第1回：授業オリエンテーション 第2回：American Dream（1961）前半 第3回：American Dream（1961）後半 第4回：Who's Afraid of Virginia Woolf?（1962）Act 1 前半 第5回：Who's Afraid of Virginia Woolf?（1962）Act 1 後半 第6回：Who's Afraid of Virginia Woolf?（1962）Act 2 前半 第7回：Who's Afraid of Virginia Woolf?（1962）Act 2 後半 第8回：Who's Afraid of Virginia Woolf?（1962）Act 3 第9回：A Delicate Balance（1966）Act 1 第10回：A Delicate Balance（1966）Act 2 第11回：A Delicate Balance（1966）Act 3 第12回：Three Tall Women（1991/1992）Act 1 第12回：Three Tall Women（1991/1992）Act 2 第13回：Three Tall Women批評、もしくはThe Goat or, Who Is Sylvia?（2002）議論 第14回：先行研究リーディングおよびディスカッション 第15回：全体のまとめ、授業アンケート 授業進度などは、変更することがあります。詳細は第1回目の授業で説明するので、必ず出席してください。						
成績評価の方法	授業内での発表および議論 40%、および期末レポート60%(第15回目授業終了後、指定した期日までに提出)によって総合的に評価します。						
成績評価の基準	授業内での発表および議論については、Edward Albeeに関する基礎知識を身につけたか、発表資料の作成が的確か、発表における分析・考察、文献読解が正確か、授業内で積極的に議論をリードできたか、の4項目について、評価を行います。 期末レポートについては、要項どおりにレポートを作成しているか、テーマ設定が明確か、レポートの構成が体系立てられているか、論理的かつ説得的に議論を構築できているか、オリジナリティがあるか、の5項目について、評価を行います。以上の項目に基づき評価を行い、卓越した基礎知識を持ち、分析ができれば90点以上、優れていれば80点以上、ややすぐれていれば79～70点、標準的なら69～60点の評価になります。						

事前事後学習の内容	授業計画にあわせて、毎週予習復習をしっかりとこなしてください。 授業前には、その週に取り扱う範囲を熟読、ディスカッションができるように準備をしてきてください。 授業は、作品の該当箇所を読んでいる前提で進めます。予習なしでの授業参加は認めません。 また、発表担当者は、レジュメ等発表資料（簡単なあらすじ説明と議論）を準備してきてください。発表の有無に関わらず、適宜先行研究も読んでみましょう。 授業後には、講義内容、および自らの考察を適宜まとめるなどして、作品への理解を深めてください。
履修上の注意	留学などの事情がない限り、前期・後期ともに履修することを推奨します。履修希望者は、必ず初回の授業に出席してください。また、英米言語文化コース所属の田所研究室所属学生、および志望学生は必ず履修するようにしてください。もちろん、それ以外の方の履修も大歓迎です。 「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」により、欠席し、補充を受けた場合を含み、欠席回数が5回を超えると、授業の達成目標に到達することができないため、単位が認定されません。 「学生は、履修する授業の全ての回に出席することを基本とする」（信州大学における授業の出席に関する要項）ので、やむをえない事情がない限り、すべての授業に出席してください。「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」による欠席については、規定の申出書による申し出があれば、学修の補充を行います。また、30分を超える遅刻は欠席としてあつかい、遅刻3回で欠席一回分としてみなします。 一部、オンデマンド/Zoomを用いたオンライン授業で実施する場合があります。
質問、相談への対応	授業後もしくはオフィスアワーに対応します。直接研究室を訪問せず、事前にメールで連絡してください。実際の対応は研究室以外（電子メールでやZoom等を用いたオンライン等）で行うことがあります。メールアドレスは人文学部履修案内に掲載されています。また、初回授業でもお知らせします。
教科書	Albee, Edward. The American Dream. Samuel French, 1998. (ISBN: 978-0573020070) Albee, Edward. Who's Afraid of Virginia Woolf?. Signet, 1983. (ISBN: 9780451158710) Albee, Edward. A Delicate Balance, Samuel French, 2011. (ISBN: 9780573607929) Albee, Edward. Three Tall Women, Penguin Publishing Group, 1995. (ISBN: 978-0452274006)
参考書	・貴志雅之 著 『アメリカ演劇、劇作家たちのポリティクス—他者との遭遇とその行方』（金星堂） ・エドワード オールビー（著）、鳴海 四郎（翻訳）『エドワード・オールビー(1)動物園物語/ヴァージニア・ウルフなんかこわくない（ハヤカワ演劇文庫3）、早川書房、2006 ・エドワード オールビー（著）、鳴海 四郎（翻訳）『エドワード・オールビー全集（1）ヴァージニア・ウルフなんかこわくない デリケート・バランス』早川書房、1969 ・Albee, Edward. The Goat, or Who is Sylvia?. Methuen Drama, 2021. ・Albee, Edward. Collected Plays of Edward Albee: 1958-1965. Overlook Books, 2007. ISBN-10: 1585678848 ISBN-13: 978-1585678846 ・Albee, Edward. The Collected Plays of Edward Albee: 1966-1977. Overlook Books, 2008. ISBN-10: 1590200535 ISBN-13: 978-1590200537 ・Albee, Edward. The Collected Plays of Edward Albee: 1978-2003. Overlook Books, 2008. ISBN-10: 1590201140 ISBN-13: 978-1590201145 ・Albee, Edward. Stretching My Mind. Carroll & Graf, 2005. ・Bigsby, C.W.E. A Critical Introduction to Twentieth-Century American Drama: Volume 2. Cambridge UP, 1984. ・Bottoms Stephen (editors), The Cambridge Companion to Edward Albee. Cambridge UP, 2005. ・Gussow, Mel. Edward Albee: A Singular Journey: A Biography. Simon & Schuster, 1999. ・Kolin Philip C. (editor) Conversations with Edward Albee. UP of Mississippi. 1988. ・Mann Bruce, J. (editor) Edward Albee: A Casebook. Routledge, 2003. ・Paolucci, Anne. From Tension to Tonic: The Plays of Edward Albee. Southern Illinois UP, 1972. ・Roudane, Matthew. Edward Albee: A Critical Introduction. Cambridge UP, 2017. ・Savran David. The Playwright's Voice.: American Dramatists on Memory, Writing and the Politics of Culture. Theatre Communications Group, 1999. ・Solomon, Rakesh Herald. Albee in Performance. Indiana UP, 2010. ・Zinman, Toby. Edward Albee. The U of Michigan P, 2011. その他は授業中に適宜紹介します。また、参考書は授業内で使用しない場合があります。